

| | |
|---|--|
| 研究課題名 | VMAT-SBRTにおけるMLC開口径の制約の有無による線量分布への影響について |
| 研究機関名 | 武蔵野赤十字病院 |
| 研究責任者 | 所属 放射線科 氏名 安廣 哲 |
| 研究期間 | (西暦) 2025 年 11 月 ～ (西暦) 2025 年 12月 |
| 研究の意義・目的 | 放射線治療では線量を集中させて高線量を投与する治療方法に体幹部定位照射(SBRT)がある。より根治性を高めるためにSBRTにおいて強度変調回転照射(VMAT)の技術を用いるVMAT-SBRTにより線量増加を検討しているが、VMAT-SBRTにより照射技術が複雑化することで治療時間の延長が懸念される。本研究では治療計画装置でVMAT-SBRTの計算過程において照射野形状の複雑化を軽減する方法で治療時間の短縮を図り、その方法による線量分布への影響を調べる。 |
| 研究の方法 (対象期間含む) | 2024年4月から2025年10月までにVMAT-SBRTを実施した14症例に対し、照射野形状の複雑化を軽減する制約の有無による違いから治療計画装置で算出される線量分布の線量指標(照射時間、線量集中性、線量勾配)の影響を比較検討する。 |
| ①試料・情報の利用 目的および利用方法 ②利用し、又は提供する 試料・情報の項目 ③試料・情報の取得 の方法 ④利用する者の範囲 ⑤試料・情報の管理 について責任を有する 者の氏名又は名称 | ①～③上記研究方法 ④研究責任者 ⑤武蔵野赤十字病院 放射線科 放射線技師 安廣 哲 武蔵野赤十字病院 院長 黒崎 雅之 |
| 問合せ先 | 当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 放射線科 氏名 安廣 哲 TEL : 0422-32-3111 (代表) 6771 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525 |